

行政報告の主な内容（5課17項目）

(1)総務課	十勝岳火口の発光現象に伴う対応について
	大雨、突風被害について
	国の栄典関係について
	健康づくり講演会について
	町有遊休地の利活用について
	自衛隊関係について
(2)保健福祉課	予防接種について
	中央保育所の民営化について
(3)町民生活課	友好都市「津市」との交流について
	交通安全対策について
(4)産業振興課	農作物の生育状況について
	町民ビアガーデンについて
	花と炎の四季彩まつりについて
	ザ・サッポロビアガーデンへの参加について
	観光振興計画の策定経過について
(5)教育振興課	児童生徒の部活動等における活躍状況について
(6)総務課	建設工事の発注状況について

行政報告

(平成24年9月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第3回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る6月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

(総務課行政報告 [防災担当関係])

はじめに、6月30日午後7時30分頃から発生した十勝岳の大正火口付近が明るく見える現象についてであります。観光客から通報を受けた警察署において、翌午前1時頃十勝岳温泉地区に避難指示が出され、町も連絡を受けたところであり、宿泊客、従業員など100名程度が保健福祉総合センターへ一時避難をいたしました。

町においては、午前2時に災害対策本部を設置し、情報の収集等に努め、午前3時27分、札幌管区气象台より「火山の状況に関する解説情報 第1号」により噴火の予兆等がないことを確認したことから、避難者への説明と合わせて、避難の解除を行いました。

なお、火山ガスの噴出量が多くなっていることから、美瑛町と協議のうえ、同日早朝より十勝岳山頂方面への入山規制を実施いたしました。その後、発光現象も確認されなくなり、火山ガスの噴出も平常のレベルに戻ったことから、7月6日には入山規制を注意喚起へ移行したところでもあります。

また、8月13日にも約1時間程度小さな発光現象が、高感度カメラによって確認されておりますが、特段の変化は確認されておられません。

今後とも関係機関との連絡体制を密にし、十勝岳監視体制の強化に努めてまいります。

次に、大雨及び突風被害についてであります。7月5日、7月31日、9月3日、9月9日から11日にかけて局地的な集中豪雨や突風により、町内の道路、河川を中心に被害が発生したところであります。

現在、町といたしましては、急を要すると判断し、専決処分による4回の予算補正を行い、全力で復旧を行っている状況であり、これらに關しまして、今議会で専決処分の承認のお願いをしているところであります。

特に7月31日は、午後8時頃からの激しい雨のほか、市街地区から日の出地区にかけて瞬間的な突風による住宅等への被害、公共施設、街路や公園内の樹木の倒木が発生し、翌日まで続いた降雨は、24時間雨量で109mmに達しました。

また、9月9日から11日にかけては、町内全域において局地的な大雨が続き、総雨量は3日間で110mmを超える大雨となりました。

これらの大雨等による公共土木災害につきましては、297箇所、農道15箇所に上り、復旧に要する費用は1億7千600万円となっております。

なお、被害は発生しなかったものの、8月中に4度の大雨警報が発表されており、突発的な気象の変化が近年増えていることから、これまでの被害を検証し、万全な体制の下に対応してまいりたいと考えております。

(総務課行政報告 [総務班関係])

次に、国の栄典関係についてであります。永年にわたり町の代表監査委員を務められました平塚武^{ひら つか たけし}氏が、7月1日付の発令による高齢者叙勲において、旭日単光章を受賞され、8月6日町長室において、上川総合振興局副局長より伝達されました。

改めてこれまでのご功績に心から敬意を表するものであります。

(総務課行政報告 [企画財政班関係])

次に、健康づくり講演会についてであります。9月15日社会教育総合センターを会場に聖路加国際病院理事長の日野原重明^{せいるか ひのはら しげあき}先生をお招きし「アートで生き生き、101歳からのメッセージ」と題して開催されました。

この講演会は、後藤純男美術館開館15周年と後藤先生の画業60周年を記念して同美術館と町の共催で開催させていただいたもので、道内外より1,300人に及ぶお客様にご来場いただき、盛会のうちに終了することができました。

次に、町遊休地の利活用についてであります。平成13年度に策定した上富良野町ストック総合活用計画において公営住宅用途廃止の決定をしておりました緑町町営住宅については、建設から45年以上を経過し、老朽化が進んでいることから、現在入居されている2棟8戸を除き、解体工事を進めたうえで町営住宅としての用途を廃止し、8月21日をもって普通財産に移行いたしました。

当該町営住宅跡地については、今後、福祉目的施設用地として利活用を図ることを基本方針として決定し、その一部について、現在、社会福

社法人 富良野あさひ郷が、町内への開設を計画している障害者支援施設建設予定の候補地として、協議を進めているところであります。

町遊休地については、町内各所に点在していることから、それぞれの状況を確認しながら、引き続きその有効な利活用を図ってまいります。

（総務課行政報告【基地調整関係】）

次に、自衛隊関係であります。基地対策関係では、北海道基地協議会によります「平成 25 年度防衛施設周辺整備対策事業要望」として北海道防衛局、北海道、民主党、防衛省、北海道選出国會議員へ要望を行いました。

また、協力会支部関係では、7月11、12日に中央要望を、本会においては8月22、30日、9月6、7日で道内、中央等での要望活動をそれぞれ行いました。

部隊記念行事関係では、6月23日に第3地对艦ミサイル連隊創隊18周年記念行事に、6月24日には島松駐屯地及び北海道補給処創立60周年記念行事に、6月30日には第1特科団創隊北千歳駐屯地記念行事に出席し、また、7月7日には、旭川地方協力本部創立6周年記念行事に、さらに、8月5日には千歳基地航空祭にそれぞれ出席したところであります。

（保健福祉課行政報告）

次に、予防接種についてであります。生ポリオワクチンについては、以前から副反応が心配されておりましたが、国内の不活化ポリオワクチンの供給が可能となったため、国において9月1日から定期接種となり、本町においても接種を開始したところであります。

また、11月からは、同様に4種混合ワクチン接種の開始が決定したこ

とから、その実施に向け、町民への周知と準備を進めてまいります。

次に、中央保育所の民営化に向けた取組みについてですが、7月27日に中央保育所父母の会の皆様に説明会を開催し、「民営化実施計画原案」と「民間移譲公募要項原案」を提示してご意見をいただいたところであり、それらを踏まえ民営化実施計画と民間移譲公募要項をまとめたところであります。

今後においては、同計画及び要項に基づき、平成26年4月からの民営化に向けて準備を進めてまいります。

（町民生活課行政報告 [自治推進班関係]）

次に、友好都市「津市」との交流についてであります。今年度は友好都市提携から15周年の記念の年を迎えたところであり、7月12日から14日にかけて津市から市民訪問団20名を、また、7月21日から23日には前葉市長一行6名をお迎えしたところであります。

前葉市長とは、これまでの交流の歴史、そしてこれからの新しい連携について、お話をさせていただいたところでありまして、先人が築いた開拓の歴史に思いを馳せ、両市町間における更なる友好の絆を深めることを確認させていただいたところであります。

（町民生活課行政報告 [生活環境班関係]）

次に、交通安全対策についてであります。本町におきましては、9月10日に交通死亡事故ゼロ1000日を達成したところであり、これもひとえに、町民一丸となり交通安全の取り組みを進めてきた結果であり、関係機関のご協力に感謝申し上げますところであります。

この達成を踏まえ9月11日には、小中学生、高校生を始め町民約900

名の参加をいただき「交通安全町民大会 2012」を開催したところであり、大会では、悲惨な交通事故を 1 件でも減らし、犠牲者を 1 人でも少なくするため、町民ひとりひとりが交通安全の意識を高めることを宣言したところであります。

今後におきましても、交通死亡事故ゼロ 1500 日、2000 日を目指し、啓発活動を推進してまいります。

（産業振興課行政報告 [農業振興班関係]）

次に、農作物の生育状況についてであります。局地的な集中豪雨によって農地の流失などの被害はあったものの、全般的には順調な経過をたどっているものと認識しております。主要作物の一つであります秋まき小麦につきましては、昨年の播種作業が大幅に遅れたことから、期待する収量は望めなかったものの、水稻をはじめ、ほとんどの作物で平年並み若しくは平年を上回る出来高であるものと期待しているところであり、今後の天候回復と収穫の安全を願っております。

（産業振興課行政報告 [商工観光班関係]）

次に、5 回目を迎えた町民ビアガーデンについてであります。7 月 14 日、「まるごとかみふらの“四季彩”実行委員会」の主催により開催されました。さらに、本年は、花と炎の四季彩まつり会場においても P R 販売を実施し、より多くの皆様に楽しんでいただくことができました。

また、本年新たに取組みられた瓶ビールの商品化につきましても、町内外の皆様から高い評価をいただき、1 千本製造した商品も、販売開始から半月余りで受注を打ち切らざるを得ない状況になったと報告を受けております。従来からの町内飲食店や観光事業所での商品活用とあわせ、上富良野ブランドの一つとして、地域経済への振興につながることを期

待しているところであります。

次に、7月22日に開催した「第34回 2012花と炎の四季彩まつり」についてですが、当日は天気にも恵まれ、町内外から約3万人の来場者をお迎えし、ステージショー・行灯行列・花火等の行事が予定どおり行われ、盛会に終了することができました。

早くから行灯の製作をはじめ、イベントの準備・運営にご尽力いただきました関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

次に、本町のPR活動についてであります。8月2日に札幌大通公園西8丁目に開設されたサッポロビアガーデン会場において開催された「ふるさと北海道応援企画」に参加し、十勝岳・ラベンダーなどの観光資源や、かみふらのポークなど農畜産物の紹介をはじめ、関係機関の皆様の協力・参加を得て、PR活動を行ってきたところであります。

次に、本年12月に策定を予定している上富良野町観光振興計画であります。町民アンケート、観光客への対面アンケート、宿泊施設利用者アンケートの調査結果がまとまりましたので、9月10日に保健福祉総合センターかみんにおいて、22名の参加をいただき、調査結果を報告するとともに意見交換会を開催いたしました。

今後におきましては、この意見交換会でいただきました、様々なご意見などを踏まえながら、計画の策定に取り組んでまいります。

(教育振興課行政報告)

次に、児童生徒の部活動等での活躍の状況についてであります。小学生においては、ジャガーズ野球少年団が7月24日から中標津町で開催された第32回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント北北

海道予選大会に、上富良野小学校 2 年の吉村海斗^{よしむらかいと}さんが 8 月 25 日から東京都で開催された第 12 回全日本少年少女空手道選手権大会に出場しました。また、上富良野小学校スクールバンドが、近年の吹奏楽コンクールでの成績が認められ、来年 1 月 26 日に仙台市で開催される東北小学校スクールバンドフェスティバルに北海道代表として出場が決定したことなど、コンクール・競技会等で優秀な成績を収めております。

中学生においては、上富良野中学校陸上部 19 名が 7 月 27 日から旭川市で開催された第 43 回北海道中学校陸上競技大会へ出場し、男子 400 メートルリレーで 3 位に入賞するなど、中体連の各競技において優秀な成績を収めております。

また、中体連関係以外においても、上富良野中学校野球部・ソフトテニス部・卓球部・東中中学校テニス部が全道大会に出場するなど、各種大会等において優秀な成績を収めており、児童生徒たちの活躍に大きな声援を送るものであります。

さらに上富良野高等学校では、甲子園出場という大きな夢を抱いて入学し、野球部を結成した現 3 年生が甲子園につながる最後の北北海道大会旭川支部予選に出場し正々堂々と全力で挑みましたが、残念ながら夢の実現は叶いませんでした。

しかし、上富良野高等学校の振興や町民に与えた功績は計り知れず、人として大きく成長した選手諸君に大きな声援を送るものです。

（総務課行政報告【企画財政班関係】）

最後に、建設工事の発注状況についてであります。6 月定例町議会で報告以降に入札執行した建設工事は、8 月 24 日現在、件数で 22 件、

事業費総額で9千499万3千5百円で、本年度累計では37件、事業費総額3億1千186万5百円となっております。

詳細につきましては、お手元に、「平成24年度建設工事発注状況」を配付しておりますので、御高覧いただきたく存じます。